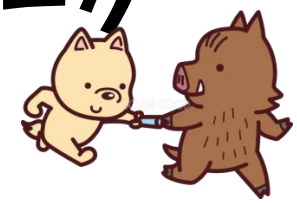
ボランティアネットワーク あさきた



2019 年 冬
－122 号－

発行・編集　社会福祉法人広島市安佐北区社会福祉協議会・安佐北区ボランティアセンター
〒731-0221 広島市安佐北区可部三丁目 19－22　安佐北区総合福祉センター4 階
TEL　814-0811　　FAX　814-1895
E-mail　kita@shakyohiroshima-city.or.jp

あけましておめでとうございます

本年もどうぞよろしくお願いいたします

高齢者いきいき活動ポイント対象事業

平成３０年度ボランティアステップアップ研修会

「認知症との上手なつきあい方」

当事者である竹内裕さんをお招きし、診断前の生活から今日にいたるまでをお話しいただいた後、みなさんと一緒に意見交換をします。当事者の気持ちを知り、認知症と上手くつきあうヒントを見つけてみませんか？

【日　時】　平成 31 年２月 26 日（火）

１３：３０ ～１５：３０

【場　所】　安佐北区総合福祉センター6 階　大会議室

【対　象】
- 安佐北区社会福祉協議会に登録しているボランティアグループ
- 個人ボランティア
- ボランティア活動に関心がある方

【講　師】　竹内　裕（ゆたか）　さん

日本認知症本人ワーキンググループ会員

NPO 法人もちもちの木・広報担当

広島市出身。営業一筋で働いてきたが、59 歳で前頭側頭葉型認知症との診断を受ける。その後は、講演活動で全国を飛び回るなど、多岐に渡り活躍されている。

【参加費】　無　　料　　【定　員】　100 名（定員になり次第、受付終了）

【申込み】　H31 年２月１５日（金）までに安佐北区社協へ電話・FAX・メール等にてお申込みください。グループの方は、参加者をとりまとめて申込んでください。
※要約筆記・手話通訳が必要な方は申し込み時にお申し出ください。

【共　催】　安佐北区ボランティアグループ連絡会
安佐北区地域福祉センター指定管理者
社会福祉法人　広島市安佐北区社会福祉協議会

＜申込み・問い合わせ先＞　担　当：齊藤
社会福祉法人　広島市安佐北区社会福祉協議会
電　話：０８２－８１４－０８１１
ＦＡＸ：０８２－８１４－１８９５
Ｅメール：kita@shakyohiroshima-city.or.jp

平成30年7月豪雨災害

平成３０年７月豪雨災害により、広島県内において、また安佐北区内においても広範囲に渡り、甚大な被害がありました。被災された方々ならびにそのご家族の皆さまには心よりお見舞い申し上げるとともに、一日でも早く日常の生活を取り戻せるよう、お祈り申し上げます。

また、現地で活動いただきましたボランティアの皆さま、運営にご協力いただいた支援者の方々、資機材や支援物資、運営支援金の寄付など様々な形でご支援、ご協力をいただきました全ての皆さまにおかれましても、心からお礼を申し上げます。

安佐北区社会福祉協議会では、安佐北区内の被災状況を受け、７月１１日に「安佐北区災害ボランティアセンター」を立ち上げました。センターでは各被災地区へ物資の支援やボランティア派遣の支援、また、被災世帯を戸別訪問し、被災地のニーズ対応を行ってきました。１０月に入り、依頼件数に対するニーズ活動完了が 99%を越え、ボランティアへの活動依頼が減少したため、１０月３１日をもって、「安佐北区災害ボランティアセンター」を閉所しました。

11 月以降については、安佐北区社会福祉協議会/ボランティアセンターで対応してまいりますので、お問い合わせやご依頼等ありましたら、ご連絡をお願いいたします。

災害ボランティア活動の様子

安佐北区では各地域の方が主体となってボランティアセンターを立ち上げ、運営されました！

10 月末時点で、区内はもちろん他区や他県から約１２，０００人のボランティアの方々に活動いただきました！お手伝い・ご協力いただいた皆さま、本当にありがとうございました！

ボランティア活動者の声

何か役に立てることがあるのではないかと思い、ボランティアに参加しました。
少しでもこの行動が被災者の方々の力になればと思い、活動を行いました。

広島文教女子大学の学生さんにお手伝いいただいた被災地区戸別訪問グッズ作り

物資を送られた方の思いと、物資が届けられる被災地の方々の思いをつなぐことができている気がして嬉しかったです。
少しの労力ではありますが、復興に役立ってほしいです。

各地区の社会福祉協議会、女性会、安佐北区ボランティア連絡会、広島文教女子大学の皆さまなど、多くの方に災害ボランティアセンター運営のお手伝いや各被災地域にてご支援いただきました！

被災された方の思い出が消えないように、蘇るように願いを込めて泥を落としました。
初めての体験でしたが、被災された方の想い出に寄り添うことができて、いい時間にさせていただきました。

水没した写真を洗浄する様子

「支援のたね（登録ボランティア）」から、井原のカフェでは、コーヒーやハンドマッサージができるボランティアの方に活動をお声掛けし、参加者にほっとひと息ついていただきました。また、高南地区のサロンでは、サックスの演奏ができる方にお声掛けし、参加者の方にはくつろぎと癒しの時間を過ごしていただきました★

井原被災地区で行われた
「体操＆おしゃべりカフェ♪」の
ハンドマッサージの様子

みなさんまだまだお元気で、逆にパワーをいただきました。
「次は私ね！」と楽しみにしていただいている声を聞くと、とてもやる気が出ました。

みなさんが楽しみにされているのがすごく伝わってきました。
参加させていただき感謝しています。
前向きなみなさんから、逆に元気をいただきました！

「第 17 回安佐北ボランティアフェスタ」とボランティア川柳について

平成３０年 10 月 20 日（土）に開催を予定していました「第 17 回安佐北ボランティアフェスタ」は、平成 30 年７月豪雨災害により、中止とさせていただきました。楽しみにされていた皆さまには深くお詫び申し上げます。また、ボランティアフェスタの企画の１つとして「ボランティア川柳」を募集しておりましたが、フェスタの中止に伴い、企画も中止とさせていただきましたことを重ねてお詫び申し上げます。

しかし、ボランティア川柳については、フェスタの中止決定をする前に４通の応募がありました。ご応募くださった方の思いをそのままにしたくなかったことと、ボランティア活動をされている方に元気で活動していただく活力源として、今回その川柳をご紹介させていただきます。

田島　勇さん

絵がとてもお上手です！
ボランティア活動への熱い気持ちが全面に伝わってきます。

「もしもしと　声をかけます　ボランティア」　／ 坂下　人寿さん

困っていらっしゃる方にはまず声をかけてみる、という優しさあふれる川柳です。
声をかけるのは勇気がいりますが、見習わないといけませんね。

「被災地へ　無理せず笑顔で　ボランティア」　／ お父さんず・Kさん

被災地でのボランティア活動は長期に渡ります。活動の際は無理のないよう、そして被災者の方と笑顔で話しながらボランティア活動を行えるといいですね。

「対話の話　笑顔の輪あり　平和の和」　／ 佐藤　如子さん

「わ」という韻を踏んでいるとてもリズムの良い川柳です。話をして笑顔になるとなんだか幸せな気持ちになりますよね。平和の和がもっともっと広がりますように・・・。

音訳グループあか音の会　厚生労働大臣表彰受賞！

平成３０年 11 月 29 日に広島市総合福祉センターで開催された広島市社会福祉大会にて、安佐北区のボランティアグループ「音訳グループあか音の会」代表の山口陽久さんが登壇され、松井市長から、厚生労働大臣表彰の賞状と記念品を受け取られました。

これからもますますのご活躍を期待しています！
本当におめでとうございます！

【受賞の様子】

【音訳グループ
あか音の会のみなさん】

編集後記

平成３０年７月の豪雨災害から半年が経ち、寒さが身に染みて感じられる季節となりました。寒さもですが、今回の災害で私自身、「地域の力」と「つながり」を身に染みて感じました。「つながり」の温かさを感じながらこの冬を乗り越えていきたいですね。✿齊藤✿

「ボランティアネットワークあさきた」についてのご意見・ご感想は、広島市安佐北区社会福祉協議会（814-0811 担当：齊藤）までお気軽にご連絡ください。